



平成21年度
川崎市IR説明会
参考資料

川崎市の財政関連データ

平成22年3月25日

川崎市財政局

目 次

<p><市勢概要> 市勢概要 1</p> <p>経済活動別市内総生産の推移 2</p> <p>「研究開発型都市」への変貌 3</p> <p><財政状況> 平成20年度一般会計 歳入決算の状況 4</p> <p>(決算関係) 平成20年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況 5</p> <p>平成20年度一般会計 目的別(款別)決算の状況 6</p> <p>平成20年度 公営企業会計決算の状況 7</p> <p>平成20年度 特別会計決算の状況 8</p> <p>一般会計決算の推移(平成6～20年度) 9</p> <p>税目別市税収入推移(平成6～20年度)及び 平成20年度政令指定都市別市税決算額と構成比 10</p> <p>特別会計決算の推移(平成16～20年度) 11</p> <p>(予算関係) 平成22年度一般会計 歳入予算の状況 12</p> <p>平成22年度一般会計 性質別当初予算 13</p> <p>平成22年度一般会計 款別当初予算(歳出) 14</p> <p>平成22年度 公営企業会計収益・資本別当初予算 15</p> <p>平成22年度 特別会計当初予算 16</p> <p>(B/S) 川崎市全会計のバランスシートの推移(5年間) 17</p> <p>連携協力団体との連結バランスシートの推移(5年間) 18</p> <p>川崎市普通会計バランスシートの推移(5年間) 19</p> <p>行政コスト計算書(普通会計)の推移(5年間) 20</p>	<p><財政健全化> 新行財政改革プランに基づく財政フレーム(平成20年3月) 21</p> <p>主な出資法人の経営状況(平成20年度末) 22-24</p> <p>債務負担行為の状況(平成20年度普通会計決算) 25</p> <p>総合的土地対策計画 26</p> <p><財政指標> 財政関係指標の推移及び健全化指標の状況 27</p> <p>一般会計プライマリーバランス(平成15～22年度) 28</p> <p><基金の状況> 基金積立金現在高 29</p> <p>財政調整基金・減債基金の推移 30</p> <p><市債の状況> 市債残高・市債発行額及び公債費の推移 31</p> <p>市場公募債の発行状況 32</p> <p>平成22年度 市債発行に関する基本的な考え方 33</p> <p>平成22年度 市債発行計画(全会計ベース) 34</p> <p><経営ビジョン> 川崎市新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」 35</p> <p>重点戦略プラン計画事業費 36</p> <p>川崎市アクセスマップ 37</p>
---	---

注:単位未満端数処理のため、数字の合計が合わない場合があります。

市勢概要

人口増加率は大都市の中でトップ

川崎市の人口 1,410,734人
 男性 726,634人
 女性 684,100人
 (平成22年3月1日現在)

【大都市人口増加率ランキング】

人口増加比率 (%)		
1	川崎市	1.98
2	東京都区部	0.99
3	福岡市	0.85
4	千葉市	0.76
5	さいたま市	0.73
6	横浜市	0.67
7	名古屋市	0.60
8	浜松市	0.39
9	広島市	0.38
10	大阪市	0.34
11	堺市	0.30
12	札幌市	0.27
13	仙台市	0.10
14	神戸市	0.06
15	新潟市	0.00
16	静岡市	△ 0.18
17	京都市	△ 0.23
18	北九州市	△ 0.36
大都市平均		0.43
人口増加数 ÷ 人口 × 100		

出所:平成19年度大都市比較統計年表



川崎市の面積 144.35km²

東京都の東南に隣接、神奈川県の東北端に位置

丘陵部

急激な宅地化

内陸部

住宅・事務所が密集

臨海部

重化学工業工場群と事務所

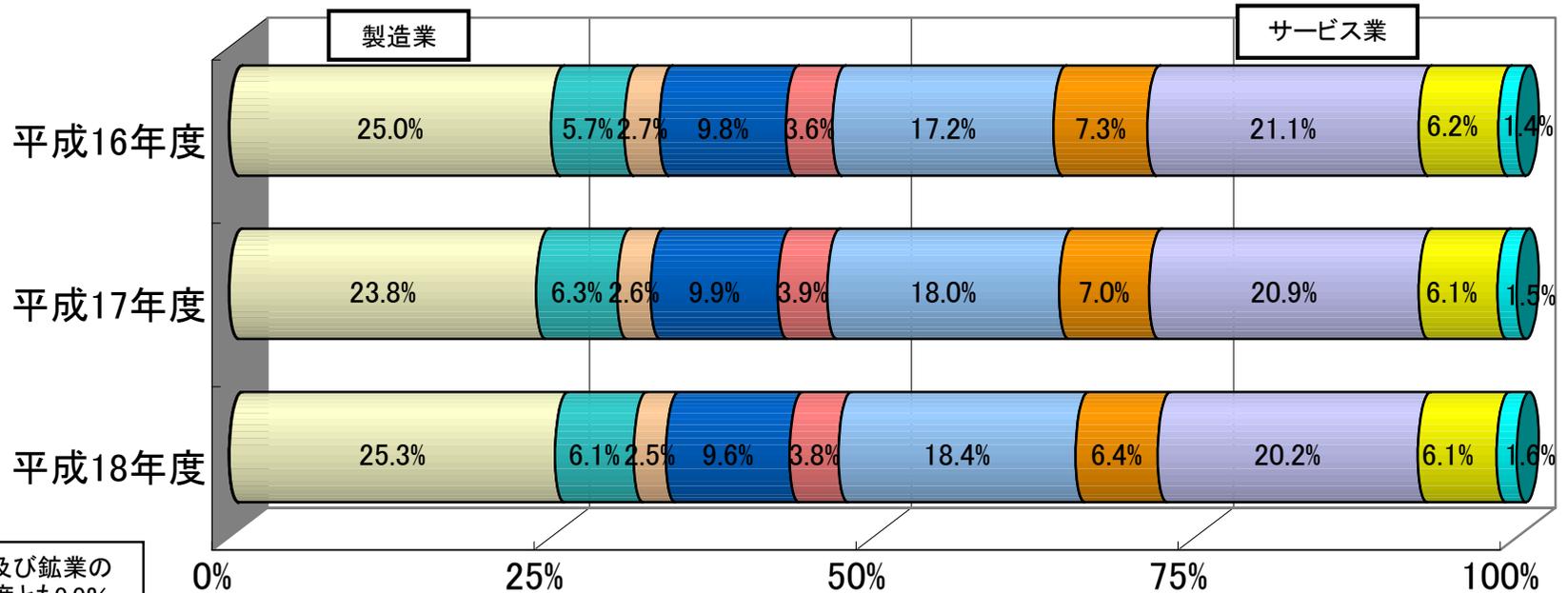
	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全市
人口 (人)	216,190	153,255	229,867	215,158	217,251	211,221	167,724	1,410,734
面積 (Km ²)	40.25	10.09	14.81	17.10	18.60	20.39	23.11	144.35

※平成22年3月1日現在

経済活動別市内総生産の推移

製造業における「研究開発型企业」の増加とサービス業の割合拡大
 ～ 生産都市から研究開発型都市へ ～

【経済活動別市内総生産構成比の推移】



- 農林水産業
- 鉱業
- 製造業
- 建設業
- 電気・ガス・水道業
- 卸売・小売業
- 金融・保険業
- 不動産業
- 運輸・通信業
- サービス業
- 政府サービス生産者
- 対家計民間非営利サービス生産者

※ 輸入品に課される税・関税、消費税、帰属利子などは除外して算出している。

出所：「川崎市統計書 平成20年版」

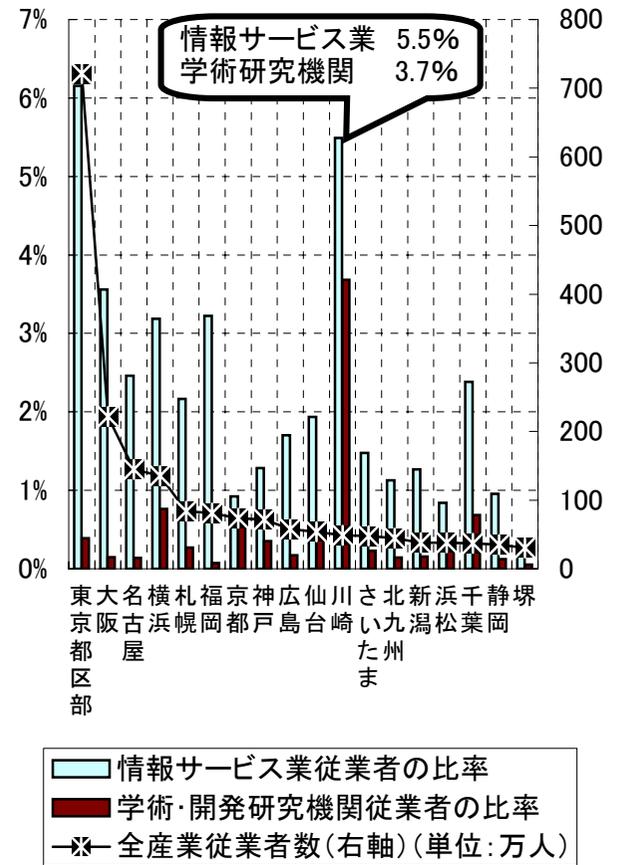
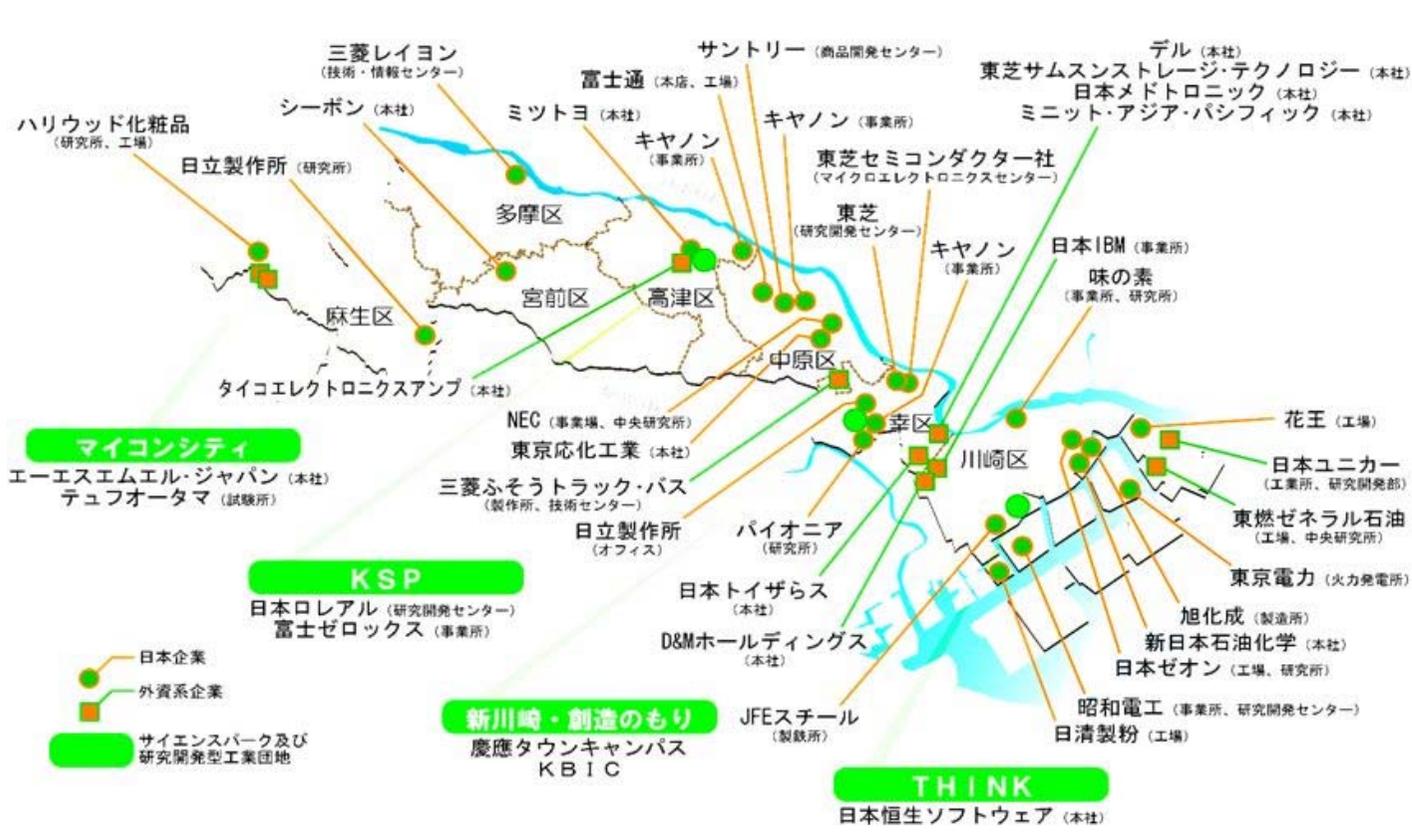
「研究開発型都市」への変貌

大手企業をはじめとした研究開発拠点の集積都市



ハイテクラインのJR南武線の沿線には、200を超える研究開発機関が集積。懸念されていた臨海部の遊休地等も減少しつつある。

学術・開発研究機関に従事する人の比率は、大都市No.1。情報サービス業に従事する人の比率も高い。



平成20年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	前年度比較		構 成 比	
				増減額	増減率	平成19年度	平成20年度
市税	270,263	289,669	293,779	4,110	1.4	54.5	50.2
地方交付税	566	430	467	37	8.5	0.1	0.1
国県支出金	69,658	77,326	80,193	2,867	3.7	14.6	13.6
諸収入	42,637	41,849	67,556	25,707	61.4	7.9	11.5
市債	55,891	52,020	67,417	15,397	29.6	9.8	11.5
その他収入	91,455	70,052	76,472	6,420	9.2	13.1	13.1
合 計	530,470	531,346	585,884	54,538	10.3	100.0	100.0
自主財源	360,755	372,153	410,008	37,855	10.2	70.0%	70.0%
依存財源	169,715	159,193	175,876	16,683	10.5	30.0%	30.0%

平成20年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		前年度比較		前年構成比 の差
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	
義務的経費	276,834	52.8	277,854	53.0	302,872	52.7	25,018	9.0	△ 0.3
人件費	111,631	21.3	111,697	21.3	109,101	19.0	△ 2,596	△ 2.3	△ 2.3
扶助費	84,406	16.1	90,572	17.3	93,573	16.3	3,001	3.3	△ 1.0
公債費	80,797	15.4	75,585	14.4	100,198	17.4	24,613	32.6	3.0
投資的経費	80,172	15.3	70,819	13.5	97,041	16.9	26,222	37.0	3.4
その他経費	167,140	31.9	175,592	33.5	174,661	30.4	△ 931	△ 0.5	△ 3.1
合 計	524,146	100.0	524,265	100.0	574,574	100.0	50,309	9.6	**

平成20年度一般会計 目的別(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成18年度		平成19年度		平成20年度		前年度比較		前年構成比 の差
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	
議 会 費	1,660	0.3	1,638	0.3	1,651	0.3	13	0.8	0.0
総 務 費	52,534	10.0	58,187	11.1	78,914	13.7	20,727	35.6	2.6
市 民 費	8,064	1.6	4,694	0.9	4,406	0.8	△ 288	△ 6.1	△ 0.1
こ ども 費	**	**	44,399	8.4	48,392	8.4	3,993	9.0	0.0
健 康 福 祉 費	127,287	24.3	94,215	18.0	98,871	17.2	4,656	4.9	△ 0.8
環 境 費	28,515	5.5	28,086	5.4	24,791	4.3	△ 3,295	△ 11.7	△ 1.1
経 済 労 働 費	15,696	3.0	17,916	3.4	20,365	3.5	2,449	13.7	0.1
建 設 費	24,271	4.6	29,732	5.7	23,613	4.1	△ 6,119	△ 20.6	△ 1.6
港 湾 費	9,233	1.8	6,228	1.2	9,957	1.7	3,729	59.9	0.5
まちづくり費	29,244	5.6	21,491	4.1	26,741	4.7	5,250	24.4	0.6
区 役 所 費	9,093	1.7	9,358	1.8	9,511	1.7	153	1.6	△ 0.1
消 防 費	17,329	3.3	18,280	3.5	17,424	3.0	△ 856	△ 4.7	△ 0.5
教 育 費	48,929	9.3	43,535	8.3	45,240	7.9	1,705	3.9	△ 0.4
公 債 費	81,364	15.5	76,022	14.5	100,593	17.5	24,571	32.3	3.0
諸 支 出 金	70,927	13.5	70,484	13.4	64,105	11.2	△ 6,379	△ 9.1	△ 2.2
合 計	524,146	100.0	524,265	100.0	574,574	100.0	50,309	9.6	**

※ 「こども費」は平成20年度決算から創設。平成19年度は比較のため平成20年度の区分に組み替えて算出している。

平成20年度 公営企業会計決算の状況

(単位:百万円)

項目 / 会計別	病院事業		下水道事業		水道事業		工業用水道事業		自動車運送事業		高速鉄道事業	
	19	20	19	20	19	20	19	20	19	20	19	20
収益的収支												
収入	32,225	33,334	40,066	38,972	36,317	34,889	8,268	8,457	9,910	9,466	**	**
支出	34,122	35,017	39,420	38,214	33,466	32,579	7,993	8,336	9,519	9,232	**	**
差引	△ 1,897	△ 1,683	646	758	2,851	2,310	275	121	391	234	**	**
資本的収支												
収入	1,369	3,108	42,441	35,411	2,022	3,024	147	288	872	886	308	592
支出	3,516	5,387	58,506	51,049	8,751	8,324	1,158	1,486	1,544	1,696	305	589
差引	△ 2,147	△ 2,279	△ 16,065	△ 15,638	△ 6,729	△ 5,300	△ 1,011	△ 1,198	△ 672	△ 810	3	3
補てん財源等	2,147	2,279	16,065	15,638	6,729	5,300	1,011	1,198	672	810	**	**
繰越工事資金	0	0	68	37	**	**	**	**	**	**	**	**
損益勘定留保金	2,144	2,271	15,351	14,843	6,483	4,970	992	903	626	750	**	**
その他	3	8	646	758	246	330	19	295	46	60	**	**
繰越利益剰余金(欠損金)年度末残高	△ 18,095	△ 20,003	0	0	1,833	4,414	717	972	△ 75	270	**	**
前年度利益剰余金処分額	**	**	**	**	92	134	**	255	**	14	**	**
当年度純利益(純損失)	△ 1,908	△ 1,700	0	0	2,673	2,096	255	81	345	188	**	**
当年度未処分利益剰余金(欠損金)	△ 20,003	△ 21,703	0	0	4,414	6,376	972	798	270	444	**	**

平成20年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円・%)

会計別	平成19年度				平成20年度			
	歳入決算額	構成比	歳出決算額	構成比	歳入決算額	構成比	歳出決算額	構成比
競輪事業会計	24,647	4.9	24,388	4.9	22,341	4.5	22,055	4.4
卸売市場事業会計	2,407	0.5	2,407	0.5	2,549	0.5	2,549	0.5
国民健康保険事業会計	120,190	23.8	119,687	23.8	115,645	23.1	115,015	23.1
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	518	0.1	239	0.0	550	0.1	207	0.1
老人保健医療事業会計	68,315	13.5	68,314	13.6	6,921	1.4	6,694	1.4
後期高齢者医療事業会計	—	—	—	—	9,282	1.9	9,179	1.9
公害健康被害補償事業会計	127	0.0	88	0.0	139	0.0	85	0.0
介護老人保健施設事業会計	478	0.1	478	0.1	629	0.1	629	0.1
介護保険事業会計	49,720	9.8	48,852	9.7	52,330	10.5	51,395	10.3
港湾整備事業会計	1,200	0.3	1,161	0.2	1,546	0.3	1,520	0.3
勤労者福祉共済事業会計	141	0.0	101	0.0	150	0.0	128	0.0
墓地整備事業会計	567	0.1	397	0.1	591	0.1	385	0.1
生田緑地ゴルフ場事業会計	591	0.1	248	0.0	849	0.2	438	0.1
公共用地先行取得等事業会計	5,469	1.1	5,337	1.1	20,106	4.0	20,106	4.0
公債管理会計	231,053	45.7	231,053	46.0	266,841	53.3	266,841	53.7
合 計	505,429	100.0	502,750	100.0	500,475	100.0	497,226	100.0

※ 会計ごとに端数処理しているため合計と一致しない場合がある。

※ 平成20年度から後期高齢者医療事業会計を設置。

一般会計決算の推移（平成6～20年度）

(1) 歳入 自主財源・依存財源別推移

（単位：億円）

区 分/年度(平成)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
自主財源	3,544	3,553	3,555	3,784	3,605	3,615	3,472	3,558	3,455	3,558	3,359	3,444	3,607	3,722	4,100
市税	2,595	2,714	2,737	2,853	2,756	2,731	2,657	2,687	2,627	2,551	2,548	2,628	2,703	2,897	2,938
その他	949	839	818	931	849	884	815	871	828	1,007	811	816	904	825	1,162
依存財源	1,610	1,622	1,472	1,316	1,728	1,723	1,986	1,784	1,831	2,284	1,775	1,650	1,697	1,591	1,758
地方交付税	7	7	7	42	67	168	204	111	66	9	8	6	6	4	4
市債	867	852	727	560	759	541	804	682	744	1,228	675	521	559	520	674
国庫支出金	416	444	442	440	565	623	513	526	617	622	637	638	612	651	688
その他	320	319	296	274	337	391	465	465	404	425	455	485	520	416	392
合 計	5,154	5,175	5,027	5,100	5,333	5,338	5,458	5,342	5,286	5,842	5,134	5,094	5,304	5,313	5,858
自主財源比率（％）	68.8%	68.7%	70.7%	74.2%	67.6%	67.7%	63.6%	66.6%	65.4%	60.9%	65.4%	67.6%	68.0%	70.0%	70.0%

(2) 歳出 義務的経費・投資的経費・その他経費別推移

（単位：億円）

区 分/年度(平成)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
義務的経費	2,090	2,186	2,369	2,346	2,388	2,509	2,454	2,568	2,548	2,691	2,497	2,562	2,768	2,779	3,029
人件費	1,252	1,289	1,279	1,294	1,304	1,316	1,301	1,297	1,254	1,210	1,151	1,125	1,116	1,117	1,091
扶助費	397	425	468	499	540	583	574	615	677	745	793	812	844	906	936
公債費	441	472	622	553	544	610	579	656	617	736	553	625	808	756	1,002
投資的経費	1,363	1,259	937	863	1,008	851	1,062	920	936	956	834	748	802	708	970
その他経費	1,647	1,668	1,681	1,846	1,845	1,927	1,895	1,803	1,763	2,151	1,760	1,731	1,671	1,756	1,746
合 計	5,100	5,113	4,987	5,055	5,241	5,287	5,411	5,291	5,247	5,798	5,091	5,041	5,241	5,243	5,745

※ 項目ごとに端数処理しているため、合計と一致しない場合がある。

税目別市税収入推移（平成6～20年度）

（単位：億円）

税目／年度	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
個人市民税	906	949	921	1,019	951	908	877	890	892	860	843	890	972	1,117	1,165
法人市民税	187	203	231	229	181	172	181	197	165	187	213	247	294	321	280
固定資産税	1,088	1,124	1,155	1,155	1,187	1,207	1,169	1,167	1,150	1,100	1,096	1,096	1,049	1,067	1,097
その他	413	438	430	450	437	444	430	433	420	404	396	395	388	392	396
合計	2,594	2,714	2,737	2,853	2,756	2,731	2,657	2,687	2,627	2,551	2,548	2,628	2,703	2,897	2,938

平成20年度 政令指定都市別市税決算額と構成比

（単位：百万円、％）

	市税	個人市民税		法人市民税		固定資産税		その他		
		市税構成比	市税構成比	市税構成比	市税構成比	市税構成比	市税構成比			
決算額	川崎市	293,779	116,517	39.7%	27,948	9.5%	109,720	37.3%	39,594	13.5%
	札幌市	282,150	96,647	34.3%	30,065	10.7%	108,593	38.5%	46,845	16.5%
	仙台市	180,961	60,570	33.5%	26,314	14.5%	67,829	37.5%	26,248	14.5%
	さいたま市	221,501	90,891	41.0%	25,042	11.3%	77,187	34.8%	28,381	12.9%
	千葉市	178,213	66,928	37.6%	21,257	11.9%	65,981	37.0%	24,047	13.5%
	横浜市	729,457	307,028	42.1%	64,735	8.9%	264,024	36.2%	93,670	12.8%
	新潟市	121,384	54,136	44.6%	個人市民税 に含まれる	0.0%	49,897	41.1%	17,351	14.3%
	静岡市	130,002	43,971	33.8%	13,709	10.5%	54,445	41.9%	17,877	13.8%
	浜松市	136,912	50,295	36.7%	16,240	11.9%	53,908	39.4%	16,469	12.0%
	名古屋市	516,306	169,609	32.9%	84,643	16.4%	189,108	36.6%	72,946	14.1%
	京都市	266,407	83,550	31.4%	42,854	16.1%	100,338	37.7%	39,665	14.8%
	大阪市	670,787	140,035	20.9%	154,351	23.0%	269,683	40.2%	106,718	15.9%
	堺市	132,440	45,481	34.3%	13,122	9.9%	53,948	40.7%	19,889	15.1%
	神戸市	277,911	94,845	34.1%	30,709	11.0%	111,487	40.1%	40,870	14.8%
	広島市	212,604	71,971	33.9%	28,619	13.5%	81,331	38.3%	30,683	14.3%
	北九州市	167,490	47,588	28.4%	18,388	11.0%	72,839	43.5%	28,675	17.1%
	福岡市	272,645	84,683	31.1%	43,030	15.8%	105,016	38.5%	39,916	14.6%
	指定都市計	4,790,949	1,624,745	33.9%	641,026	13.4%	1,835,334	38.3%	689,844	14.4%

※ 上記データは各都市への速報値照会に基づき川崎市が集計したものである。

特別会計決算の推移（平成16～20年度）

（単位：百万円）

会計別／年度(平成)	16年度			17年度			18年度			19年度			20年度		
	歳入	歳出	差引												
競輪事業	31,647	31,372	275	30,814	30,790	24	25,588	25,461	127	24,647	24,388	259	22,341	22,055	286
卸売市場事業	2,443	2,443	0	2,310	2,310	0	2,821	2,821	0	2,407	2,407	0	2,549	2,549	0
国民健康保険事業	95,932	95,610	322	102,711	102,477	234	108,081	107,753	328	120,190	119,687	503	115,645	115,015	630
母子寡婦福祉資金貸付事業	472	439	33	503	360	143	509	269	240	518	239	279	550	207	343
老人保健医療事業	69,403	69,299	104	70,017	69,817	200	67,838	67,654	184	68,315	68,314	1	6,921	6,694	227
後期高齢者医療事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9,282	9,179	103
公害健康被害補償事業	112	97	15	116	97	19	122	94	28	127	88	39	139	85	54
介護老人保健施設事業	419	419	0	425	425	0	562	562	0	478	478	0	629	629	0
介護保険事業	40,814	40,402	412	44,056	42,841	1,215	47,242	46,103	1,139	49,720	48,852	868	52,330	51,395	935
港湾整備事業	2,548	2,548	0	1,096	1,072	24	1,089	1,047	42	1,200	1,161	39	1,546	1,520	26
勤労者福祉共済事業	124	118	6	125	110	15	129	103	26	141	101	40	150	128	22
墓地整備事業	186	141	45	810	747	63	563	417	146	567	397	170	591	385	206
生田緑地ゴルフ場事業	409	232	177	458	182	276	557	261	296	591	248	343	849	438	411
公共用地先行取得等事業	21,550	21,550	0	15,888	15,888	0	13,504	13,504	0	5,469	5,337	132	20,106	20,106	0
公債管理	207,682	207,682	0	234,374	234,374	0	264,282	264,282	0	231,053	231,053	0	266,841	266,841	0
合 計	473,741	472,352	1,389	503,709	501,491	2,218	532,893	530,332	2,561	505,429	502,750	2,679	500,475	497,226	3,249

※ 平成20年度から後期高齢者医療事業会計を設置

※ 会計ごとに端数処理しているため合計と一致しない場合がある。

平成22年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成21年度 当初予算		平成22年度 当初予算		増減額	増減率
			構成比		構成比		
自主財源	市 税	289,045	49.7	272,726	44.6	△ 16,319	△ 5.6
	分担金及び負担金	7,797	1.3	8,118	1.3	321	4.1
	使用料及び手数料	18,052	3.1	17,438	2.8	△ 614	△ 3.4
	繰入金	38,359	6.6	24,046	3.9	△ 14,313	△ 37.3
	諸収入	43,885	7.5	57,370	9.4	13,485	30.7
	その他	9,179	1.6	15,372	2.5	6,193	67.5
	計	406,317	69.8	395,070	64.5	△ 11,247	△ 2.8
依存財源	地方交付税	150	0.0	615	0.1	465	310.0
	国庫支出金	68,920	11.9	93,444	15.3	24,524	35.6
	市債	65,544	11.3	81,928	13.4	16,384	25.0
	その他	40,747	7.0	40,615	6.7	△ 132	△ 0.3
	計	175,361	30.2	216,602	35.5	41,241	23.5
歳 入 規 模		581,678	100.0	611,672	100.0	29,994	5.2

平成22年度一般会計 性質別当初予算

(単位:百万円・%)

区 分		平成21年度 予算額		平成22年度 予算額		増減額	増減率
			構成比		構成比		
義務的 経費	人件費	110,175	18.9	104,119	17.0	△ 6,056	△ 5.5
	扶助費	97,351	16.7	127,062	20.8	29,711	30.5
	公債費	79,052	13.6	75,927	12.4	△ 3,125	△ 4.0
	小 計	286,578	49.2	307,108	50.2	20,530	7.2
投資的 経費	普通建設事業費	109,198	18.8	95,413	15.6	△ 13,785	△ 12.6
	うち単独事業費	65,416	11.3	52,203	8.5	△ 13,213	△ 20.2
	小 計	109,198	18.8	95,413	15.6	△ 13,785	△ 12.6
その 他の 経費	物件費	55,844	9.6	59,533	9.7	3,689	6.6
	維持補修費	7,242	1.3	7,652	1.2	410	5.7
	補助費等	63,486	10.9	55,082	9.0	△ 8,404	△ 13.2
	繰出金	20,966	3.6	21,175	3.5	209	1.0
	その他	38,364	6.6	65,709	10.8	27,345	71.3
	小 計	185,902	32.0	209,151	34.2	23,249	12.5
合 計		581,678	100.0	611,672	100.0	29,994	5.2

平成22年度一般会計 款別当初予算(歳出)

(単位:百万円・%)

区 分	平成21年度 予算額	構成比	平成22年度 予算額	構成比	増減額	増減率
議会費	1,667	0.3	1,595	0.2	△ 72	△ 4.4
総務費	55,817	9.6	53,699	8.8	△ 2,118	△ 3.8
市民費	3,966	0.7	7,886	1.3	3,920	98.8
こども費	53,660	9.2	77,083	12.6	23,423	43.6
健康福祉費	102,207	17.6	112,057	18.3	9,850	9.6
環境費	30,551	5.3	26,150	4.3	△ 4,401	△ 14.4
経済労働費	30,683	5.3	37,758	6.2	7,075	23.1
建設緑政費	29,760	5.1	30,995	5.1	1,235	4.2
港湾費	5,875	1.0	7,408	1.2	1,533	26.1
まちづくり費	43,699	7.5	41,067	6.7	△ 2,632	△ 6.0
区役所費	9,987	1.7	13,664	2.2	3,677	36.8
消防費	18,738	3.2	18,121	3.0	△ 617	△ 3.3
教育費	43,861	7.5	44,638	7.3	777	1.8
公債費	79,518	13.7	76,416	12.5	△ 3,102	△ 3.9
諸支出金	71,189	12.2	62,635	10.2	△ 8,554	△ 12.0
予備費	500	0.1	500	0.1	—	—
合 計	581,678	100.0	611,672	100.0	29,994	5.2

※環境費から緑政関係経費(一部維持管理費等を除く)を建設費に移管し、建設緑政費と名称を変更しました。

※環境費から公園等の維持管理費及び教育費から市民館等の施設運営管理経費を区役所費に移管しました。

※教育費からスポーツ関係経費(一部学校体育関係等を除く)及び文化施設運営関係経費を市民費に移管しました。

平成22年度 公営企業会計収益・資本別当初予算

(単位:百万円)

項目/会計別		病院 事業会計	下水道 事業会計	水道 事業会計	工業用水道 事業会計	自動車運送 事業会計	高速鉄道 事業会計	合 計
収益的 収支	収 入	37,960	39,102	33,707	7,434	9,331	—	127,534
	支 出	39,156	38,352	33,141	6,960	9,725	—	127,334
	差 引	△ 1,196	750	566	474	△ 394	—	200
資本的 収支	収 入	6,031	41,288	3,552	1,188	1,118	68	53,245
	支 出	9,771	57,105	13,376	2,797	1,967	68	85,084
	差 引	△ 3,740	△ 15,817	△ 9,824	△ 1,609	△ 849	0	△ 31,839

平成22年度 特別会計当初予算

(単位:百万円、%)

会計別	平成21年度予算		平成22年度予算		前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
競輪事業会計	29,906	5.7	23,491	5.3	△ 6,415	△ 21.5
卸売市場事業会計	2,683	0.5	2,303	0.5	△ 380	△ 14.2
国民健康保険事業会計	121,036	23.2	127,594	28.8	6,558	5.4
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	293	0.1	287	0.1	△ 6	△ 2.0
老人保健医療事業会計	77	0.0	113	0.0	36	46.8
後期高齢者医療事業	10,482	2.0	10,403	2.3	△ 79	△ 0.8
公害健康被害補償事業会計	105	0.0	104	0.0	△ 1	△ 1.0
介護保険事業会計	55,066	10.6	58,363	13.2	3,297	6.0
港湾整備事業会計	1,616	0.3	1,667	0.4	51	3.2
勤労者福祉共済事業会計	110	0.0	237	0.1	127	115.5
墓地整備事業会計	592	0.1	395	0.1	△ 197	△ 33.3
生田緑地ゴルフ場事業会計	818	0.2	446	0.1	△ 372	△ 45.5
公共用地先行取得等事業会計	29,330	5.6	11,013	2.5	△ 18,317	△ 62.5
公債管理会計	268,865	51.6	206,884	46.7	△ 61,981	△ 23.1
合 計	520,981	100.0	443,301	100.0	△ 77,680	△ 14.9

※ 会計ごとに端数処理をしているため、合計と一致しないことがある。

川崎市全会計のバランスシートの推移(5年間)

総務省方式

(単位:億円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
資産	1.有形固定資産	30,903	31,223	31,401	31,493
	2.投資等	1,541	1,507	1,509	1,597
	3.流動資産	810	860	838	844
	4.繰延勘定	2	0	0	0
資産合計		33,256	33,590	33,748	33,934
負債	1.固定負債	14,901	14,788	14,415	13,956
	2.流動負債	1,088	1,195	1,300	1,485
負債合計		15,989	15,983	15,715	15,441
正味資産合計		17,267	17,607	18,033	18,493
負債・正味資産合計		33,256	33,590	33,748	33,934

総務省方式改訂モデル

(単位:億円)

区 分		平成19年度	平成20年度
資産	1.公共資産	55,189	54,941
	2.投資等	1,524	1,702
	3.流動資産	1,758	1,345
	4.繰延勘定	0	0
資産合計		58,471	57,989
負債	1.固定負債	14,456	14,580
	2.流動負債	2,045	1,916
負債合計		16,501	16,496
純資産合計		41,970	41,493
負債・純資産合計		58,471	57,989

※平成19年度までは「総務省方式」、平成20年度からは「総務省方式改訂モデル」により作成している。

※平成19年度の「総務省方式改訂モデル」数値は、普通会計の金額を「総務省方式改訂モデル」により修正し試算している。

※「総務省方式」と「総務省方式改訂モデル」の主な相違点は、勘定科目の変更、新たな勘定科目の追加、有形固定資産の対象範囲の拡大、減価償却方式の変更。

※区分ごとに端末処理をしているため、合計と一致しないことがある。

連携協力団体との連結バランスシートの推移(5年間)

総務省方式

(単位:億円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
資 産	1.有形固定資産	31,647	31,890	32,035	32,155
	2.投資等	1,710	1,700	1,702	1,758
	3.流動資産	1,789	1,717	1,562	1,518
	4.繰延勘定	5	2	1	0
資産合計		35,151	35,309	35,300	35,431
負 債	1.固定負債	16,322	15,945	15,421	14,910
	2.流動負債	1,398	1,581	1,625	1,825
負債合計		17,720	17,526	17,046	16,735
正味資産合計		17,431	17,783	18,254	18,696
負債・正味資産合計		35,151	35,309	35,300	35,431

総務省方式改訂モデル

(単位:億円)

区 分		平成19年度	平成20年度
資 産	1.公共資産	55,605	56,388
	2.投資等	1,864	1,798
	3.流動資産	2,019	1,915
	4.繰延勘定	0	0
資産合計		59,487	60,101
負 債	1.固定負債	15,534	15,605
	2.流動負債	2,256	2,250
負債合計		17,790	17,855
純資産合計		41,697	42,246
負債・純資産合計		59,487	60,101

※平成19年度までは「総務省方式」、平成20年度からは「総務省方式改訂モデル」により作成している。

※平成19年度の「総務省方式改訂モデル」数値は、普通会計の金額を「総務省方式改訂モデル」により修正し試算している。

※「総務省方式」と「総務省方式改訂モデル」の主な相違点は、勘定科目の変更、新たな勘定科目の追加、有形固定資産の対象範囲の拡大、減価償却方式の変更。

※区分ごとに端末処理をしているため、合計と一致しないことがある。

川崎市普通会計バランスシートの推移(5年間)

総務省方式

(単位:億円・%)

総務省方式改訂モデル

(単位:億円・%)

区分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
資産	1.有形固定資産	19,067	19,272	19,460	19,624
	2.投資等	1,929	1,967	2,008	2,104
	3.流動資産	337	371	276	298
	資産合計	21,333	21,610	21,744	22,026
負債	1.固定負債	9,102	9,051	8,887	8,486
	(うち地方債)	8,306	8,259	8,119	7,763
	2.流動負債	475	561	579	870
	負債合計	9,577	9,612	9,466	9,356
正味資産	1.国庫支出金	2,299	2,360	2,373	2,416
	2.県支出金	248	243	238	233
	3.一般財源等	9,209	9,395	9,667	10,021
	純資産合計	11,756	11,998	12,278	12,670
指標	正味資産構成比率(%)	55.1	55.5	56.5	57.5

区分		平成19年度	平成20年度	前年度差引	増減率
資産	1.公共資産	43,073	43,439	366	1
	2.投資等	2,210	1,990	△ 220	△ 10
	3.流動資産	799	1,235	436	55
	資産合計	46,081	46,664	583	1
負債	1.固定負債	9,110	9,201	91	1
	(うち地方債)	8,160	8,322	162	2
	2.流動負債	1,301	1,309	8	1
	負債合計	10,411	10,510	99	1
純資産	1.公共資産等整備国県補助金等	2,822	2,858	36	1
	2.公共資産等整備一般財源等	35,746	35,768	22	0
	3.その他一般財源等	△ 2,904	△ 2,501	403	△ 14
	4.資産評価差額	6	29	23	383
	純資産合計	35,670	36,154	484	1
指標	純資産構成比率(%)	77.4	77.5	0.1	—

※平成19年度までは「総務省方式」、平成20年度からは「総務省方式改訂モデル」により作成している。

※平成19年度の「総務省方式改訂モデル」数値は、普通会計の金額を「総務省方式改訂モデル」により修正し試算している。

※「総務省方式」と「総務省方式改訂モデル」の主な相違点は、勘定科目の変更、新たな勘定科目の追加、有形固定資産の対象範囲の拡大、減価償却方式の変更。

※区分ごとに端末処理をしているため、合計と一致しないことがある。

行政コスト計算書(普通会計)の推移(5年間)

総務省方式

[行政コスト]

(単位:億円、%)

項目 / 年度(平成)	16年度		17年度		18年度		19年度		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
人的コスト	(1)人件費	999	25.1	984	25.2	956	24.3	933	23.5
	(2)退職給与引当金	104	2.6	102	2.6	102	2.6	92	2.3
	小計	1,103	27.7	1,086	27.8	1,058	26.9	1,025	25.8
物的コスト	(1)物件費	516	12.9	514	13.1	508	12.9	530	13.4
	(2)維持補修費	52	1.3	54	1.4	55	1.4	55	1.4
	(3)減価償却費	477	12.0	477	12.2	480	12.2	487	12.3
	小計	1,045	26.2	1,045	26.7	1,043	26.5	1,072	27.1
移転支出的コスト	(1)扶助費	793	19.9	812	20.8	844	21.5	905	22.9
	(2)補助費等	454	11.4	430	11.0	430	10.9	424	10.7
	(3)繰出金	312	7.8	286	7.3	306	7.8	325	8.2
	(4)普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	62	1.6	55	1.4	75	1.9	53	1.3
	小計	1,621	40.7	1,583	40.5	1,655	42.1	1,707	43.1
その他コスト	(1)災害復旧費	0	0.0	1	0.0	0	0.0	0	0.0
	(2)公債費(利子分のみ)	198	5.0	177	4.5	160	4.1	150	3.8
	(3)不納欠損額	17	0.4	18	0.5	14	0.4	10	0.2
	小計	215	5.4	196	5.0	174	4.5	160	4.0
行政コスト A	3,984	100.0	3,910	100.0	3,930	100.0	3,964	100.0	

[収入]

1. 使用料・手数料等 B	399	9.9	389	9.5	378	9.0	375	8.7
B/A	10.0%		9.9%		9.6%		9.5%	
2. 国庫(県)支出金 C	584	14.6	582	14.2	595	14.2	652	15.1
C/A	14.7%		14.9%		15.1%		16.4%	
3. 一般財源 D	2,953	73.5	3,044	74.3	3,148	74.9	3,208	74.3
D/A	74.1%		77.9%		80.1%		80.9%	
4. 正味資産国庫(県)支出金償却額 E	81	2.0	81	2.0	81	1.9	83	1.9
収入合計(B+C+D+E)	4,017	100.0	4,096	100.0	4,202	100.0	4,318	100.0

総務省方式改訂モデル

[行政コスト]

(単位:億円、%)

項目 / 年度(平成)	19年度		20年度		
	金額	構成比	金額	構成比	
人にかかるとコスト	(1)人件費	896	22.7	870	22.0
	(2)退職給与引当金繰入等	92	2.3	87	2.2
	(3)賞与引当金繰入額	65	1.7	63	1.6
	小計	1,053	26.7	1,020	25.7
物にかかるとコスト	(1)物件費	530	13.5	524	13.2
	(2)維持補修費	54	1.4	63	1.6
	(3)減価償却費	430	10.9	439	11.1
	小計	1,014	25.7	1,026	25.9
移転支出的なコスト	(1)社会保障給付費	905	23.0	936	23.6
	(2)補助金等	193	4.9	192	4.9
	(3)他会計等への支出額	560	14.2	550	13.9
	(4)他団体への公共資産整備補助金等	53	1.3	79	2.0
	小計	1,712	43.5	1,756	44.3
その他のコスト	(1)支払利息	150	3.8	150	3.8
	(2)回収不能見込計上額	10	0.3	11	0.3
	(3)その他行政コスト	0	0	0	0.0
	小計	160	4.1	161	4.1
経常行政コスト A	3,939	100.0	3,963	100.0	

[経常収益]

1. 使用料・手数料 B	197	80.4	195	79.2
B/A	5.0%		4.9%	
2. 分担金・負担金・寄附金 C	48	19.6	51	20.8
C/A	1.2%		1.3%	
経常収益合計(B+C)	245	100.0	246	100.0

※平成19年度までは「総務省方式」、平成20年度からは「総務省方式改訂モデル」により作成。

※平成19年度の「総務省方式改訂モデル」数値は、普通会計の金額を「総務省方式改訂モデル」により修正し試算している。

※「総務省方式」と「総務省方式改訂モデル」の主な相違点は、項目の変更及び削除、新たな項目の追加。

※区分ごとに端末処理をしているため、合計と一致しないことがある。

新行財政改革プランに基づく財政フレーム(平成20年3月策定)

一般財源ベース

(単位:億円)

項目 / 年度	20予算	21予算	22見込	23見込	24見込
歳入合計 A	3,578	3,782	3,776	3,681	3,640
市税	2,888	2,890	2,976	3,004	3,048
地方譲与税	34	33	34	34	34
利子割交付金～軽油引取税交付金	217	203	222	230	230
地方交付税	3	2	3	3	3
市債	123	167	87	72	57
その他	313	487	454	338	268
歳出合計 B	3,678	3,782	3,825	3,733	3,677
人件費	946	938	899	877	857
扶助費	377	397	399	403	410
公債費	745	761	711	751	707
投資的経費	287	400	391	267	271
その他経費	1,323	1,286	1,425	1,435	1,432
減債基金からの借入れ	100	0	0	0	0
施策調整・事業見直し C	-	0	49	52	37

※A-Bの収支不足はCで対応

- ・平成21年度以降の市税等は、市民税においては個人・法人の別に人口動態や企業収益、物価上昇等の影響を見込むなど、各税目ごとに近年の動向を参考に算定。
- ・歳出歳入一体改革については、影響を見込まず。
- ・人件費は、給与改定による影響を見込まず。
- ・人件費のうち退職手当は、退職予定者数を勘案して算定。
- ・投資的経費のうち平成23年度以降は、平成19年度までの過去10年間の平均値を基本に算定。

主な出資法人の経営状況（平成20年度末）

		公益法人(公社)		公益法人(財団)								
		川崎市 土地開発公社	川崎市 住宅供給公社	川崎市 国際交流協会	川崎市指定都市 記念事業公社	川崎市 文化財団	川崎市 産業振興財団	川崎市 公園緑地協会	川崎市リサイクル 環境公社	かながわ廃棄物 処理事業団	川崎・横浜 公害保健センター	
資本金 (A)		20	10	300	10	30	100	131	100	303	10	
市出資金 (B)		20	10	300	10	30	100	131	100	70	7	
出資比率 (B/A) %		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	23%	67%	
貸借対照表	資産	流動資産	19,195	5,520	27	61	304	131	313	65	193	27
		固定資産(繰延含む)	511	9,167	300	1,102	253	148	563	114	7,821	153
		資産合計	19,706	14,687	327	1,163	557	279	876	179	8,014	180
	負債	流動負債	416	923	20	54	283	72	140	14	814	27
		固定負債	17,561	5,886	0	15	0	43	80		6,136	11
		特別法上の引当金等	-		-	-	-					
	負債合計	17,977	6,809	20	69	283	115	220	14	6,950	38	
	資本合計(正味財産)		1,729	7,878	307	1,094	274	164	656	165	1,064	142
負債・資本(正味財産)合計		19,706	14,687	327	1,163	557	279	876	179	8,014	180	
収支計算書	事業活動収支				△ 0.3	0.5	59	27	26	6	184	△ 15
	投資活動収支				△ 0.4	△ 5	△ 50	△ 8	△ 27	5	437	15
	財務活動収支								△ 12		△ 621	
	予備費支出											
	当期収支差額				△ 1	△ 4	9	19	△ 13	11	0	0
	前期繰越収支差額				7	10	12	48	185	40	0	0
	次期繰越収支差額				6	6	21	67	172	51	0	0
損益計算書	経常損益	営業収入	27,847	5,251								
		営業費用	27,713	3,953								
		営業損益	134	1,298								
		営業外収入	27	14								
		営業外費用	0	0								
		経常利益	161	1,312								
	特別損益		0	△ 55								
	税引き前当期純利益(△損失)		0	1,257								
	法人税等											
	当期純利益(△損失)		161	1,257								
前期繰越利益(△損失)		1,548	6,610									
当期未処分利益(△損失)		1,709	7,867									

※単位:百万円

1)川崎市住宅供給公社の当期未処分利益には、特定目的積立金5,202百万円を含む。

		公益法人(財団)									
		川崎市身体 障害者協会	川崎市心身障害者 地域福祉協会	川崎市看護師 養成確保事業団	川崎市 保健衛生事業団	川崎市 まちづくり公社	川崎市水道 サービス公社	川崎市消防 防災指導公社	川崎市 学校給食会	川崎市 生涯学習財団	
資本金 (A)		15	15	203	300	500	200	100	1	200	
市出資金 (B)		10	10	140	180	481	200	100	1	200	
出資比率 (B/A) %		67%	67%	69%	60%	96%	100%	100%	100%	100%	
貸借対照表	資産	流動資産	77	18	9	115	861	30	51	217	188
		固定資産(繰延含む)	38	32	205	454	39,244	200	905	64	313
		資産合計	115	50	214	569	40,105	230	956	281	501
	負債	流動負債	14	2	9	61	11,777	30	16	198	99
		固定負債	8	2			25,560		997	64	62
		特別法上の引当金等									
	負債合計	22	4	9	61	37,337	30	1,013	262	161	
	資本合計(正味財産)		93	46	205	508	2,768	200	△ 57	19	340
負債・資本(正味財産)合計		115	50	214	569	40,105	230	956	281	501	
収支計算書	事業活動収支		29	△ 2		12	401	0	△ 18	△ 17	28
	投資活動収支			2		△ 3	5,584		19	31	△ 9
	財務活動収支						△ 6,121			0	
	予備費支出										
	当期収支差額		29	0	0	9	△ 136	0	1	14	19
	前期繰越収支差額		34	15	0	45	853	0	33	5	69
	次期繰越収支差額		63	15	0	54	717	0	34	19	88
損益計算書	経常損益	営業収入									
		営業費用									
		営業損益									
		営業外収入									
		営業外費用									
		経常利益									
	特別損益										
	税引き前当期純利益(△損失)										
	法人税等										
当期純利益(△損失)											
前期繰越利益(△損失)											
当期未処分利益(△損失)											

		公益法人(株式会社)				
		かわさき市民 放送株式会社	川崎アゼリア 株式会社	川崎冷蔵 株式会社(注2)	川崎臨港倉庫 株式会社	
資本金 (A)		140	5,000	50	100	
市出資金 (B)		77	2,143	40	50	
出資比率 (B/A) %		55%	42.8%	80%	50%	
貸借対照表	資産	流動資産	90	4,257	137	1,018
		固定資産(繰延含む)	27	19,718	364	1,340
		資産合計	117	23,975	501	2,358
	負債	流動負債	7	2,711	15	66
		固定負債	6	12,635	976	80
		特別法上の引当金等	0	0	0	
		負債合計	13	15,346	991	146
	資本合計(正味財産)		104	8,629	(注3) △ 490	2,212
負債・資本(正味財産)合計		117	23,975	501	2,358	
収支計算書	事業活動収支					
	投資活動収支					
	財務活動収支					
	予備費支出					
	当期収支差額					
	前期繰越収支差額					
	次期繰越収支差額					
損益計算書	経常損益	営業収入	81	2,701	470	681
		営業費用	71	2,084	422	501
		営業損益	10	617	48	180
		営業外収入	0	227	5	3
		営業外費用	0	194	28	
		経常利益	10	650	25	183
	特別損益		0	17		△ 1
	税引き前当期純利益(△損失)		10	667	25	182
	法人税等		4	273		75
	当期純利益(△損失)		6	394	25	107
	前期繰越利益(△損失)					2,018
当期未処分利益(△損失)		6	394	25 (注3)	2,111	

2)川崎冷蔵は平成19年度から、会計処理方法変更のため減価償却費を一括計上している。

3)川崎臨港倉庫の当期未処分利益は当期変動△14百万円を反映させている。

債務負担行為の状況(平成20年度普通会計決算)

(単位:百万円)

区 分	限度額	平成21年度 以降の支出 予定額	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源等
物件購入に係るもの	219,906	70,151	9,355	21,863	1,475	37,458
土地の購入に係るもの	123,410	19,937	586	3,634	334	15,383
建造物の購入に係るもの	27,617	5,562	0	0	0	5,562
その他の物件の購入に係るもの	0	0	0	0	0	0
製造・工事の請負に係るもの	68,879	44,652	8,769	18,229	1,141	16,513
債務保証又は損失補償に係るもの	8,258,220	0	0	0	0	0
地方三公社(a)	38,500	0	0	0	0	0
特別法規程法人で(a)以外のもの(b)	0	0	0	0	0	0
(a)(b)以外の出資・出えん法人	203,332	0	0	0	0	0
共同発行債に係るもの	8,012,891	0	0	0	0	0
その他	3,497	0	0	0	0	0
その他	112,072	64,341	21,061	1,121	955	41,204
合 計	8,590,198	134,492	30,416	22,984	2,430	78,662

総合的土地対策計画

1. 第1次及び第2次総合的土地対策計画(平成12～20年度)の進捗状況(実績ベース)

先行取得用地保有額 (単位:億円、%)

年度末(平成)	12年度当初 (A)	19年度末 (B)	縮減額 (A-B)	縮減率 1-(B/A)
3制度の合計	2,153	854	1,299	60.3%
土地開発公社	1,311	454	857	65.4%
公共用地先行取得等事業特別会計	774	386	388	50.1%
土地開発資金	68	14	54	79.4%

※ 制度ごとに端数処理しているため、合計と一致しないことがある。(以下表同じ)

2. 第3次総合的土地対策計画(平成18～22年度)における目標

先行取得用地保有額 (単位:億円、%)

年度末(平成)	17年度末 (C)	22年度末 目標額(D)	縮減額 (C-D)	縮減率 1-(D/C)
3制度の合計	1,031	558	473	45.9%
土地開発公社	539	323	216	40.1%
公共用地先行取得等事業特別会計	467	219	248	53.1%
土地開発資金	25	16	9	36.0%

(単位:億円、%)

対12年度当初 縮減額(A-D)	対12年度当初 縮減率1-(D/A)
1,595	74.1%
988	75.4%
555	71.7%
52	76.5%

※ 表は計画ベース、実績は計画よりも早いペースで縮減中(説明資料参照)

3. 第3次総合的土地対策計画(計画期間:平成18～22年度)の基本方針及び具体的取組内容

《基本方針》

平成16年12月に国の支援措置として、新たな「土地開発公社経営健全化対策」が示されたことから、新総合計画及び事務事業総点検等を踏まえ、現行の「第2次総合的土地対策計画」のローリングを実施して、長期保有土地の計画的な事業化等による早期再取得、用途不明確土地に対する新規目的設定及び貸付・売却等による有効活用を図ることにより、残された土地問題の課題解決に取り組み、更なる保有総量の縮減を目指す

《具体的な取組内容》

- (1)長期保有土地(5年以上)の計画的な再取得
面積315,151.66㎡、保有額975億円
(全体の約94%)(平成17年度末現在)
- (2)用途不明確土地の解消
- (3)貸付・売却等の実施
- (4)土地開発公社経営健全化対策の活用

財政関係指標の推移

(単位: %)

区分 / 年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
自主財源比率	70.7	74.2	67.6	67.7	63.6	66.6	65.4	60.9	65.4	67.6	68.0	70.0	70.0	69.8
財政力指数(3年度平均)	1.057	1.029	0.999	0.964	0.941	0.932	0.946	0.974	0.999	1.021	1.041	1.060	1.080	1.101
経常収支比率	90.3	86.2	89.1	85.8	84.6	85.5	84.3	89.4	91.6	93.0	92.2	93.5	94.2	未算出

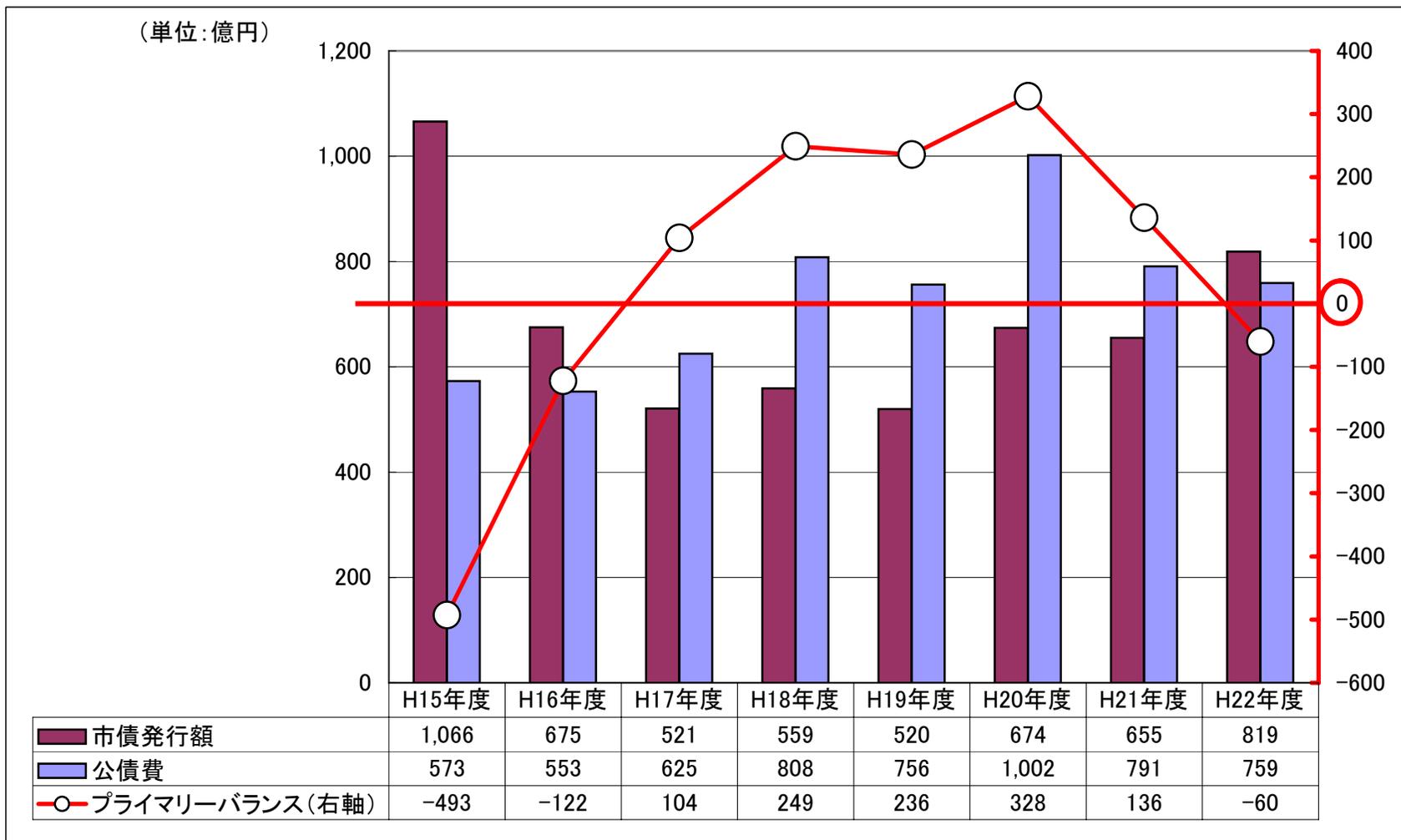
※ 自主財源比率は20年度までは決算、21年度は予算

健全化指標の状況

(単位: %)

	18年度	19年度	20年度	早期健全化基準	財政再生基準 (経営健全化基準)	指標の説明
実質赤字比率	/	-	-	11.25	20.0	地方公共団体の中心的な収支となる一般会計等の実質的な赤字を示すもの。
連結実質赤字比率	/	-	-	16.25	40.0	一般会計等に水道やバス事業などの公営企業会計など、地方公共団体の全ての会計の赤字を指標化するもの。
実質公債費比率	21.1	16.3	15.6	25.0	35.0	起債償還や企業会計への公債費としての繰り出し、PFIによる割賦払いなど実質的な元利償還の水準を示す指標。
将来負担比率	/	147.3	133.9	400.0	-	起債償還や退職金、支出が確定した債務負担などを財政規模と比較し将来的な財政負担度合いを指標化したもの。
資金不足比率	/	-	-	-	20.0	公営企業の資金不足を事業規模である料金収入規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を表したのもの。

一般会計プライマリーバランス



H20年度までは決算、H21・H22年度は当初予算

基金積立金現在高

(単位:百万円)

基金名 / 時点	H17.3.31	H18.3.31	H19.3.31	H20.3.31	H21.3.31	前年比 増減額	基金の概要
減債基金	73,945	68,043	68,461	61,642	71,435	9,793	計画的に積立を行い、市債の償還財源を確保する基金
財政調整基金	1,143	1,775	2,165	2,333	2,204	△ 129	余裕財産の積立や積立金取崩しにより財源調整を行う基金
特定目的基金(元本取崩型)	26,278	27,380	28,576	29,767	35,339	5,572	積立金・運用収益を特定の目的・事業に使用する基金
鉄道整備事業基金	9,728	9,738	10,064	10,429	10,808	379	鉄道及び軌道整備事業並びに新駅設置の資金に充てる基金
港湾整備事業基金	2,615	2,720	2,957	3,032	3,102	70	港湾整備事業の資金に充てる基金
介護保険給付費準備基金	3,378	2,866	2,204	2,949	3,781	832	介護保険事業の保険給付等の資金に充てる基金
他8基金	10,557	12,056	13,351	13,357	17,648	4,291	
特定目的基金(果実運用型)	8,885	8,820	8,456	8,363	8,156	△ 207	主に運用収益をもって特定の目的・事業に使用する基金
緑化基金	4,149	4,195	3,703	3,584	3,355	△ 229	民有地緑化推進事業の資金に充てる基金
資源再生化基金	868	878	888	898	908	10	資源再生化事業の資金に充てる基金
長寿社会福祉振興基金	821	798	1,117	1,137	1,141	4	地域福祉事業の資金に充てる基金
他9基金	3,047	2,949	2,748	2,744	2,752	8	
定額運用基金	8,345	9,444	9,568	9,757	2,390	△ 7,367	土地・用品等の購入・売却を繰り返し、回転運用する基金
土地開発基金	8,345	9,444	9,568	9,757	2,390	△ 7,367	公共用若しくは公用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得する資金に充てる基金
合 計	118,597	115,462	117,226	111,862	119,524	7,662	

※基金ごとに端数処理をしているため、合計が合わない場合がある。

財政調整基金・減債基金の推移

財政調整基金の推移(出納閉鎖期末)

(単位:百万円)

年度(平成)	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
積立額	1,003	948	762	673	579	479	446	432	235	303	580	514	345	457	505	949	51
取崩額	0	3,500	1,400	6,090	8,400	500	1,800	4,500	4,000	0	0	0	254	670	0	2,043	0
残高	26,059	23,507	22,869	17,452	9,631	9,610	8,256	4,188	423	726	1,306	1,820	1,911	1,698	2,203	1,109	1,160

※20年度までは決算、21年度は3月補正予算、22年度は当初予算。

減債基金の推移(出納閉鎖期末)

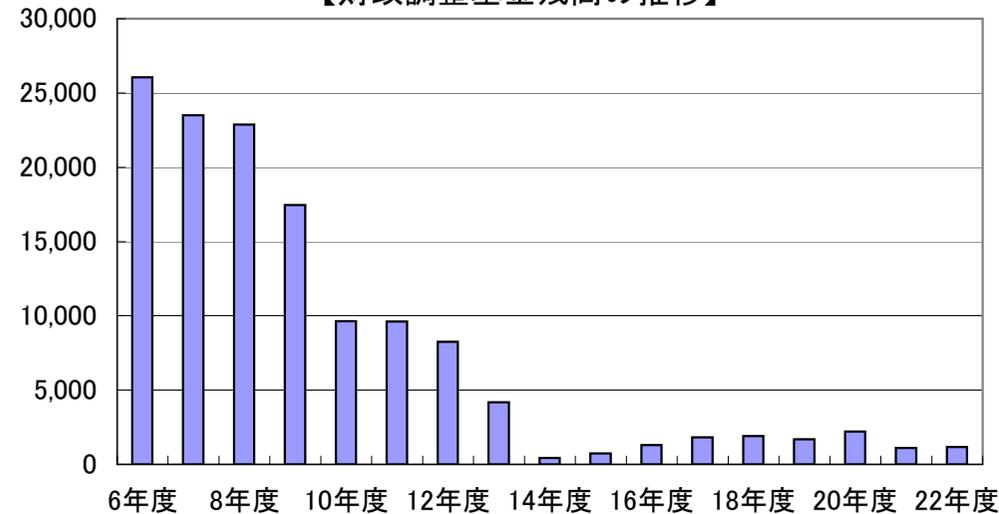
(単位:百万円)

年度(平成)	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
積立額	12,061	8,894	9,838	18,105	11,746	13,636	29,947	22,207	15,833	14,420	18,918	22,716	25,892	33,084	67,138	44,227	44,176
取崩額	2,197	6,069	13,363	5,572	3,900	1,856	2,165	19,623	19,245	23,573	24,818	22,398	32,935	23,417	25,567	51,238	20,456
残高	24,606	27,431	23,906	36,439	44,285	56,065	83,847	86,431	83,019	73,866	67,966	68,284	61,241	70,908	112,479	105,468	129,188

※20年度までは決算、21年度は3月補正予算、22年度は当初予算。

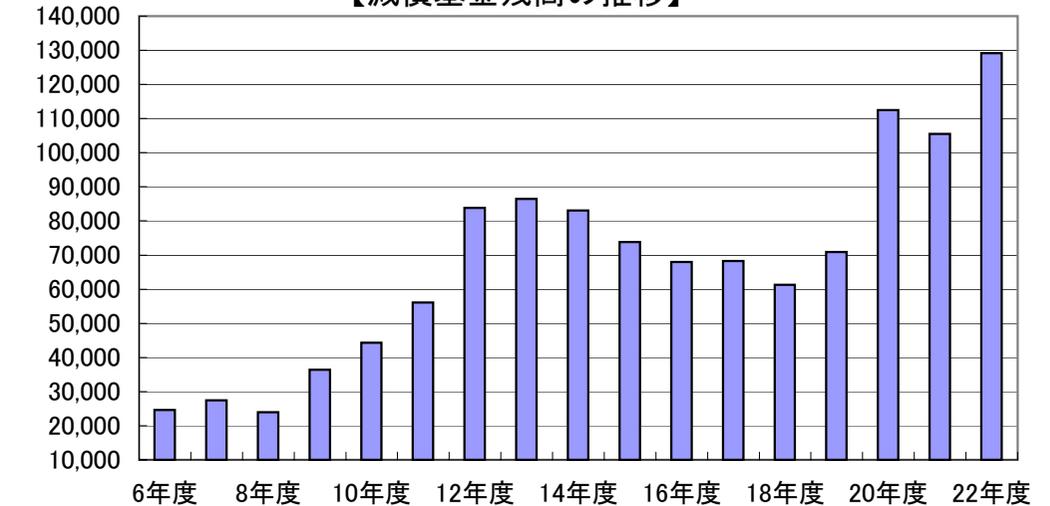
(百万円)

【財政調整基金残高の推移】



(百万円)

【減債基金残高の推移】



市債残高・市債発行額及び公債費の推移

1.総額(一般会計)

(単位:億円)

区分/年度(平成)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
市債発行額	852	727	560	759	541	804	682	744	1,228	675	521	559	520	674	655	819
償還額	259	391	304	270	313	255	309	342	481	396	456	563	477	457	720	382
市債残高	4,944	5,280	5,536	6,025	6,732	7,284	7,657	8,059	8,806	9,085	9,150	9,145	9,188	9,406	9,348	9,881

※21・22年度は当初予算ベース。

※残高については特別会計の廃止や施設の用途変更に伴う債務承継により(残高=前年度残高+発行-償還)とならない年度がある。

2.公債費(一般会計)

(単位:億円)

区分/年度(平成)	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
公債費	472	622	553	544	610	579	656	617	736	553	625	808	756	1,002	791	759

※性質別決算項目の公債費(21・22年度は予算ベース)。

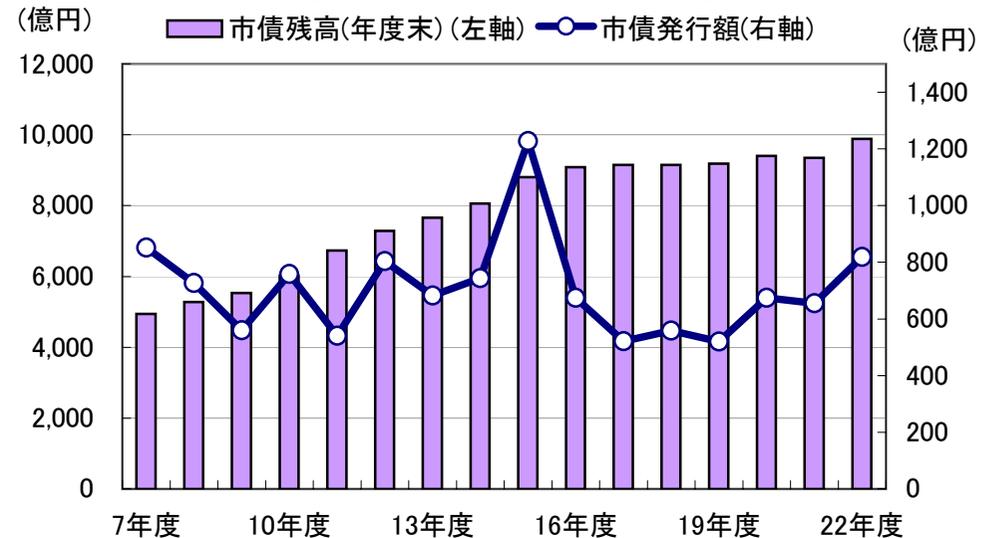
※平成20年度は水江町土地買戻しに伴う積立を236億円計上したため公債費が増加している。(財源は土地開発公社からの返還金のため一般財源への影響ない)

※2表の公債費には利子や減債基金積立分が含まれており、1表の償還額は利子を含まず減債基金取崩が含まれているため一致するものではない。

【公債費の推移】



【市債残高・市債発行額の推移】



市場公募債の発行状況

1.発行額の推移

(単位:億円)

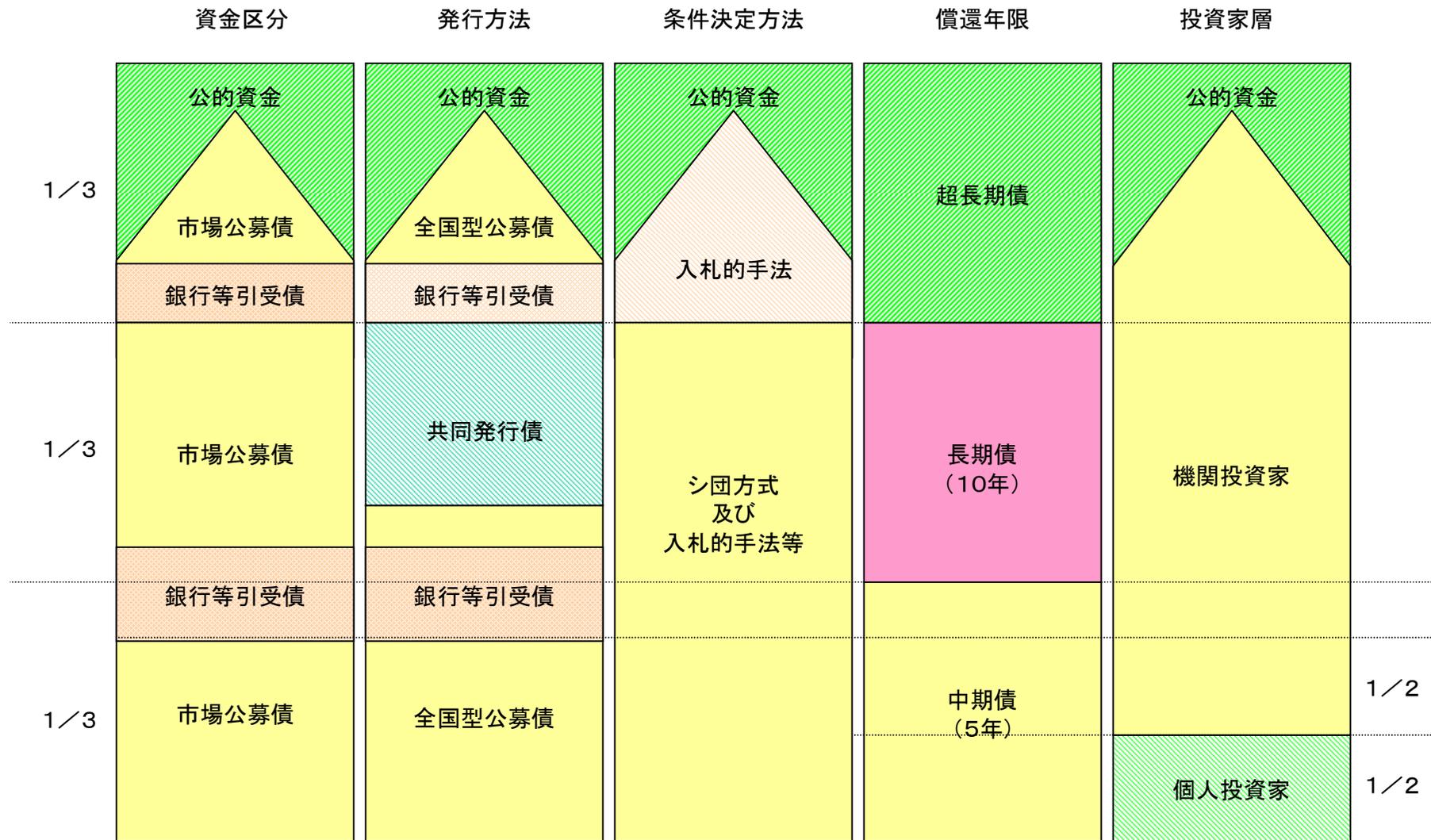
区分/年度(平成)	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
個別発行	5年債	**	**	**	**	200	200	250	300	350	400	350	300	350	350	300
	10年債	350	350	360	500	300	350	300	0	0	100	100	100	100	250	100
	15年債	**	**	**	**	**	**	**	**	150	200	100	**	**	**	**
	20年債	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	100	200	200	300	200
	30年債	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	100	100	100	**	100
	住民参加型 ミニ公募債	**	**	**	**	**	**	**	**	20	20	20	20	20	**	**
小計	350	350	360	500	500	550	550	320	520	720	770	720	750	900	700	
共同発行(10年債)	**	**	**	**	**	**	**	400	450	450	450	350	350	300	300	
総計	350	350	360	500	500	550	550	720	970	1,170	1,220	1,070	1,100	1,200	1,000	

※21年度までは実績額、22年度は発行計画 なお、22年度の「30年債」は「20年債または30年債」である

2.平成21年度の発行条件(共同発行債を除く)

区分/発行月	21年5月		21年6月	21年7月	21年9月	21年11月		22年1月
償還年限	10年	20年	5年	20年	5年	10年	20年	5年
発行額	150億円	100億円	100億円	100億円	150億円	100億円	100億円	100億円
表面利率	1.57%	2.21%	1.00%	2.08%	0.72%	1.52%	2.20%	0.61%
発行価格	99.93円	99.88円	99.98円	99.96円	99.99円	99.94円	99.91円	99.98円
応募者利回り	1.578%	2.218%	1.004%	2.082%	0.722%	1.527%	2.206%	0.614%
条件決定日	H21.5.13	H21.5.15	H21.6.11	H21.7.8	H21.9.4	H21.11.6	H21.11.12	H22.1.8

平成22年度 市債発行に関する基本的な考え方



平成22年度 市債発行計画(案)(全会計ベース)

(単位:億円)

区 分		発行年限 構成比	発行 総額	22年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年	1月	2月	3月	時期未定	
				4月														
市場公募債	川崎市個別発行	全国型市場公募地方債	5年	300			100			100				100				
		全国型市場公募地方債	10年	100								100						
		全国型市場公募地方債	20年	200				100			100							
		全国型市場公募地方債	20年又は30年	100								100						
	小計		700			100	100		100	100	200		100					
	共同発行市場公募地方債	10年	300	50	50			50					50		50	50		
	合計	57.1%	1,000	50	50	100	100	50	100	100	200	50	100	50	50			
銀行等引受債	証券発行又は証書発行	5年	256									71				8		177
	証券発行又は証書発行	10年	195						75							70		50
	証券発行又は証書発行	超長期	120															120
	合計	32.6%	571						75			71				78		347
民間資金(市場公募+銀行等引受)		89.6%	1,571	50	50	100	100	50	175	100	200	121	100	50	128			347
公的資金		10.4%	181													151		30
全会計合計		100.0%	1,752	50	50	100	100	50	175	100	200	121	100	50	279			377

<基本的考え方>

1 資金需要、市場動向などを総合的に勘案して発行する。

2 一定規模の銀行等引受債を発行しつつ、市場公募債による安定した資金調達に取り組む。

3 金利変動リスクを平準化させるため、中期、長期、超長期のバランスを概ね1/3ずつとする。

※公的資金:財政融資資金及び地方公共団体金融機構資金

※上表は、今後の状況、調整により変更する場合があります。

※合計額欄は、単位未満の端数処理により各合計と合わない場合があります。

中期、長期、超長期の構成比

32.2% (30.8%)

34.0% (37.3%)

33.8% (31.9%)

民間資金(市場公募債、銀行等引受債)の構成比

63.7% (72.9%)

36.3% (27.1%)

民間資金、公的資金の構成比

89.6% (89.3%)

10.4% (10.7%)

()内はH21の値

川崎市 新総合計画「フロンティアプラン」

- 平成17年度から概ね10年のまちづくりの方向を定めた「基本構想」と、この基本構想に基づく施策の具体的取組内容及び目標を定めた3カ年の「実行計画」の2層構造
- 現在、平成20年度から平成22年度までの第2期実行計画を推進

基本構想（10年）

まちづくりの基本目標：
「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」
をめざして

- ▼ 7の基本政策
- ▼ 30の政策の基本方向
- ▼ 90の基本施策

※ 計画を支える仕組み 川崎再生ACTIONシステム

- ∞ 「計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Action)」のシステム
- ∞ 評価結果の公表等
- ∞ 計画、予算、執行体制との連携、職員の活力

実行計画（3年）

- ◆ 政策体系別計画
- ◆ 区計画

特に重点的・戦略的に
取り組む施策

9の重点戦略プラン（3年）

- ・ 課題の重要性
 - ・ 手法・発想の戦略性
 - ・ 取組の重点性
- } の視点から選定

9つの重点戦略プランごとの計画事業費

(単位:百万円)

プラン名	H20年度	H21年度	H22年度	合計
安全・安心な地域生活環境の整備	18,167	23,319	28,073	70,751
支え合いによる地域福祉社会づくり	8,394	11,240	12,038	30,552
総合的な子ども支援	18,952	24,111	24,252	65,054
環境配慮・循環型の地域社会づくり	2,209	5,194	10,199	19,227
憩いとうるおいの環境づくり	5,159	7,186	7,227	20,264
川崎の活力を生み出す産業イノベーション	592	* ₁ 11,403	10,620	23,203
都市拠点・ネットワークの整備と川崎臨海部の再生	62,643	47,811	* ₂ 29,975	148,034
川崎の魅力を育て発信する取組	4,176	1,967	5,589	11,683
市民自治と区役所機能の拡充	5,121	974	862	7,086
総 合 計	125,413	133,206	128,835	395,854

* 1 先端科学技術の振興に係る事業費等の増(新川崎・創造のもり第3期事業の実施等)

* 2 都市の拠点機能の整備に係る事業費等の減(新川崎・鹿島田駅周辺地区の整備等)

※ プランごとに端数処理しているため、合計と一致しない場合がある

川崎市アクセスマップ

川崎市の特徴

★首都圏の好位置にある優位性 ★道路・鉄道・空港など交通利便性の高さ

